

Slovenia Monthly *March 2024*

スロベニア マンスリー

発行：在スロベニア日本国大使館 発行日：2024年4月12日



～3月の主なポイント～

外 政：ショルツ独首相のスロベニア訪問
経 済：水素コンソーシアム設立協定署名式

政治

【内政】

●医師のストライキ【1日、22日】

1日、医師・歯科医の労働組合フィデスがストライキを強化する中、公立病院の約30%、地域保健センターの約20%の医師が、週8時間以上の時間外労働の同意を撤回した。

22日、欧州俸給医師連盟(FEMS)のデ・デウス代表がフィデスを訪問し、公的医療の条件改善を求めるフィデスへの支持を表明した。

●カラバンケトンネル掘削工事が完了【6日】

3年半に及ぶ工事の末、オーストリア国境のカラバンケ高速道路トンネルの掘削作業が完了した。ブラトウシェク・インフラ相は、これを嬉しく思うとともに、2025年には工事が完了すると述べた。その後すぐに第1チューブの改修工事が始まるため、両チューブでの運行開始までにはしばらく時間がかかる。

●イエセニツェ駅、全面改築へ【6日】

オーストリアとの国境のイエセニツェ駅が、1億3,700万ユーロ規模のプロジェクトの一環で改築される。ブラトウシェク・インフラ相は、鉄道ハブである同駅への投資は非常に重要であると述べ、改良によりリュブリャナへの2本目の線路が建設されれば、毎日60本の貨物列車と100本の旅客列車が駅を通過し、乗客数は倍増すると予想されると述べた。

●リュブリャナ旅客センター改修【7日】

インフラ庁は、リュブリャナ旅客センター・プロジェクトの中心となる鉄道ターミナルの大規模改修の新たな入札公募を行った。昨年11月の最初の公募(見積もり額1億3,660万ユーロ)は落札者が決まらなかったため、今回は約20%高い1億7,330万ユーロでの募集となった。

●カティッチ新法相の就任【5日】

5日、法務省が裁判所のための建物を過剰な価格で購入したという疑惑を受けて辞任したシュヴァルツ＝ピパン法相(社会民主党(SD))の後任として、元法相のカティッチ結東・地域開発省副大臣(SD)が新法相として任命された。同法相は優先課題として、建物購入スキandalへの対応のほか、憲法裁判所の判決に基づき司法給与引き上げを実施することなどを挙げた。

●裁判所建物購入に関連する家宅捜索【5日】

国家捜査局(NBI)は、裁判所建物購入に関して、16か所で捜索を実施した。NBIムジェニツァ長官は、合計13人に職権乱用の疑いがあり、その結果340万ユーロの違法な収益が上がっていたと述べた。シュヴァルツ＝ピパン前法務大臣もショルテス前法務副大臣も容疑者には含まれておらず、建物売主の実業家や土地鑑定士に加え、法務省の現・元高官数名の名前が容疑者として上がっている。

●SSHの利益は洪水後の復興に充てられる【7日】

政府は、国有資産の管理者であるスロベニア・ソブリン・ホールディング(SSH)の定款を変更し、分配可能利益を洪水後の復興に充てることを認めた。年間約1億ユーロが復興特別基金に割り当てられる。

●共同焼却場の基準厳格化法案が可決【7日】

国民議会は共同焼却炉の排出基準を厳格化する環境保護法の改正案を全会一致で可決した。この法案は西部ソチャ渓谷にあるセメント工場サロニツ社を念頭にNGOによって提案された。

●SDSが3議員の委員資格を剥奪【8日】

野党民主党(SDS)は党の忠誠声明に署名しなかった議員3名から国民議会各委員会の委員資格を剥奪することを決定した。この3名には、ロガル前外相と、同氏が設立し政党に発展すると推測されるプラットフォームの共同創設者エヴァ・イルグル氏が含まれる。

●世論調査、欧州議会選の獲得議席と投票率【9日】

デロ紙の世論調査によると、欧州議会選挙においては野党民主党(SDS)が3議席、与党自由運動党(GS)が2議席、社会民主党(SD)、新スロベニア(NSi)、左派党がそれぞれ1議席を獲得することが見込まれる。回答者の81%以上が必ず、またはおそらく選挙に参加すると回答し、投票率は比較的高くなることが予想される。

●農民による抗議活動と妥協【12日、18日】

12日、農民代表団体は、農業の状況に注意を喚起し、条件不利地域における環境保全支払いの削減に抗議するため、2月に続き3月19日に抗議活動を行うと発表したが、18日、政府との交渉で合意に達し、抗議活動は中止された。チャルシツ農業大臣は農民の協力と妥協の姿勢を歓迎した。

●与野党、原子力拡大に関する国民投票動議を提出【12日】

連立政権の自由運動党(GS)と社会民主党(SD)、野党の民主党(SDS)と新スロベニア(NSi)は原子力エネルギー拡大に関する国民投票を求める動議を国民議会に提出した。国民投票は11月後半に実施される予定で、クルシュコ第2原子炉プロジェクトを支持するかどうかを国民に問われることとなる。

●行政機関職員が再びストライキ【13日】

スロベニアの58行政機関のうち54機関の職員は給与と労働条件をめぐる再び一日ストライキに突入した。緊急の仕事のみ行い、全職員の給与を7段階引

き上げ、肩書を政府省庁職員と同等にすることなどを要求した。

●アルチョン大臣が副首相に【14日】

アルチョン海外スロベニア人担当大臣は、コミュニケーション担当の副首相に任命された。アルチョン副首相は、政府の会議後のメディアへの情報発信と、政府の仕事に関する時事問題にも対応する。

●10年ユーロ債の発行額を5億ユーロ増額【14日】

スロベニアは、(今年1月に発行した)国際資本市場における10年物ユーロ債RS93の発行を5億ユーロ増額し、20億ユーロとした。投資家の3分の1はドイツ、オーストリア、スイスから、13%はフランスから、12%はスカンジナビアから、10%はスロベニアを含む中・東欧から、9%はベネルクス諸国から、23%はその他の国からとなっている。

●検察当局が再びストライキ【14日】

検察当局は1月に続き、裁判官の給与を引き上げるよう求める憲法裁判所の判決を政府が履行しなかったことへの反発を表明し、一日ストライキを行った。

●原子力エネルギー、死の補助等が国民投票へ【7日、15日】

7日、国民議会は、死の補助に関する法案を否決した。この法案を支持する自由運動党(GS)は国民投票の実施に向けた手続きを開始すると述べた。

15日、GSは、総選挙における優先投票導入のための選挙法改正と、医療目的での大麻の栽培、加工、取引、使用に関する国民投票の協議案を提示した。

●ファヨンSD党首、党首選に再出馬せず【20日】

連立与党である社会民主党(SD)のファヨン党首(外相)は、4月の党首選に出馬しないと発表した。SDは法務省によるリュブリャナ市の建物の高額な購入に関連した告発により、ジベルト前事務局長の辞任、シュヴァルツ=ピパン法相の辞任・離党につながり、政党支持率は急速に低下し、ファヨン党首は政治家人気ランキングで最下位となった。党首選には、ブルグレス州議員、ベオチャニン・アイトフシュチナ市長及びプレドニクSD議会グループ長が出馬する予定である。

●世論調査、SDSが政党でトップ、海賊党が左派党を抜く【25日】

POP TVのためのメディアナ誌の調査で、欧州議会選挙では野党民主党(SDS)が有権者から最も支持を得ていることが明らかになった。政党支持率は21.5%(2月21.8%)で、与党の自由運動党は14.

3%(2月15. 1%)、非議会政党の海賊党は3. 1%で連立政権の左派党(2. 8%)を抜いた。政権支持率は30. 7%と依然低い。

●企業向け5億1200万ユーロの融資【25日】

ハーン経済大臣は、企業向けにSID輸出開発銀行およびスロベニア企業基金を通じて5億1, 200万ユーロの融資・金融商品が利用可能だと述べた。SID銀行の様々な種類の融資3億3, 500万ユーロのうち、2億3, 500万ユーロは金融商品を通じて、1億ユーロは2つのファンドで小口融資、エネルギー効率投資、流動性融資のために確保されている。

●NSi、欧州議会選候補者リストを発表【26日】

野党新スロベニア(NSi)は欧州議会選挙でトニン党首が筆頭候補となることを発表した。現職ノヴァク欧州議員はリストの下位から再選を目指す。トニン党首は、2議席を目指していると述べた。

●第3開発軸の最初のトンネル工事開始【27日】

第3開発軸高速道路のルート上の最初のトンネルの掘削作業がヴェレニェ近郊で開始され、ブラトウシエク・インフラ大臣が式典に出席した。同大臣は、ヴェレニェ〜スロベン・グラデツ区間は2028年6月までに、コノヴォ・トンネルは1年半で完成すると述べた。

●デジタル変革相不信任案が否決【28日】

野党民主党(SDS)によるストイメノヴァ＝ドゥフ・デジタル変革相に対する不信任決議案が否決された。デジタル変革省によるノートパソコン購入(650万ユーロ)が争点とされており、31人が賛成、42人が反対した。

●国民議会、改正タバコ法案を可決、VAPE香料への規制強化【28日】

28日、国民議会は、電子タバコと加熱式タバコ製品の香料を禁止し、喫煙ラウンジを廃止する改正タバコ法案を全会一致で可決した。香料の使用禁止は、12か月の移行期間を経て施行される。喫煙ラウンジは2025年末までを移行期間として段階的に廃止される。

●原子力の長期的平和利用に関する決議【28日】

政府は、原子力の長期的平和利用に関する決議案を採択した。原子力と自然エネルギーのエネルギーミックスを定め、スロベニアが建設を検討しているクルシュコ原子力発電所二号機への支持を表明している。首相府原子力担当のレヴィチャル副大臣は、同決議案は原子力エネルギーの開発指針を定めた初めての文書であると述べた。

●国民議会、投資促進法の改正を承認【28日】

国民議会は、EUを拠点とする投資家がスロベニアに登録された会社を持つ前にインセンティブを申請できるようにする投資促進法改正案を全会一致で可決した。本改正はEU指令によるもので、奨励金が支払われるまでに会社または子会社を登記し、投資は3年以内に完了しなければならない。

●食料価格監視プロジェクトの終了【29日】

インフレを抑制するために導入された食品価格監視プロジェクトが終了した。クネズ農業省副大臣はプロジェクトに参加した小売業者と面会し、インフレの鈍化に応じ、プロジェクト終了を共同決定した。

【外政・EU・防衛等】

●外務・欧州省、イスラエル軍によるパレスチナ人襲撃を非難【1日】

外務・欧州省は、イスラエル軍が援助トラックに集まったパレスチナ市民に発砲したことを非難した。また、即時停戦、民間人の保護、ガザ全域への十分な人道援助の提供を改めて求めた。

●軍事力の強化【3日】

3日、シャルツ国防相は、ウクライナとガザにおける戦争、西バルカンにおける緊張、EUにおけるナショナリズムの台頭を背景に、スロベニアは抑止力として軍事力を強化し続けなければならないと述べた。同相は、スロベニアが軍備の買い手から売り手、そして生産国になることを望むと述べた。国防省は防衛研究開発への投資を2022年の200万ユーロから2023年は1,200万ユーロ近くまで増額した。

●クロアチア国境での検問は継続、亡命センター設置計画【4日、12日、16日】

ポクルカル内相は、昨年10月に導入され本年6月まで延長されたクロアチア国境における検問を当面継続すると述べ、また、同国境近くに2つの亡命センターを設立する計画について説明した。予定地となったブレジツェとスレディシュチェ・オブ・ドラヴィ両自体はこの計画に反対し、地元コミュニティとの話し合いは行われておらず、同地は移民を收容するのに適していないと述べた。リュブリャナとロガテツにある同様のセンターは、増加する到着移民により過密状態となっている。

12日、政府は、建設が一時的な措置であり、警察が住民の安全を確保すると説明し、亡命センター設置作業を開始したが、地元住民は抗議活動を行った。

●クメル大臣、アゼルバイジャンでガス回廊会議に出席【4日】

8日、クメル環境・気候・エネルギー相は、アゼルバイジャンのバクーで開催された南部ガス回廊諮問委員会の閣僚会議に参加し、同回廊がEUのエネルギー供給を確保するための重要なメカニズムであることを強調した。クメル大臣は、アゼルバイジャンのシャフバゾフ・エネルギー相とも会談し、二国間協力の強化に向けた取り組みについて協議した。

●ファヨン外相、イスラエルのカツツ外相と電話会談【6日】

ファヨン外相は、イスラエルのカツツ外相と電話会談し、ガザでの即時停戦に対するスロベニアの期待を表明した。外務・欧州省は、停戦合意にはイスラエルの人質に関する取決め、イスラエルのラファ攻撃計

画の撤回、ガザの市民に対する人道援助と必需サービスの保証が含まれることを期待していると述べた。

●スロベニア・フランス、航空宇宙産業で協力【8日】

クランスカ・ゴーラで行われたスロベニア・フランスのビジネスフォーラムでは、航空宇宙産業を含む先端技術におけるスロベニアとフランスの協力促進の可能性や、パリで開催されるオリンピック・パラリンピックに関連したビジネスチャンスについて議論された。経済省フランゲシュ副大臣は、スロベニアが本年欧州宇宙機関の正式メンバーとして認められることを見越し、宇宙技術における両国企業間の協力はますます重要になっていると述べた。

●スロベニア・アイルランド経済相会談【13日】

ハーン経済・観光・スポーツ大臣はリッチモンド・アイルランド企業・貿易・雇用大臣を迎え、二国間協力について話し合った。再生可能エネルギー、エネルギー効率の高度化技術など、グリーン・テクノロジーの分野におけるビジネス協力強化の可能性が議論された。競争力、欧州産業の将来、EU域内市場に関する欧州の最新トピックについても議論した。

●国防支出割合はNATO加盟国で最低水準【14日】

NATOによると、スロベニアは国防支出を2022年のGDP比1.25%から2023年にはGDP比1.33%に引き上げたが、未だ比率が最も低い加盟国のひとつである（スロベニアより低いのはスペイン、ベルギー、ルクセンブルグ）。また、スロベニア国民はNATO加盟国地位にかなり懐疑的で、加盟国にとどまるべきだと考えているのはNATO諸国平均66%に対してスロベニア52%となっている。

●スロベニア兵が紅海アスピデス作戦に参加【14日】

スロベニア軍は、紅海における商船保護のためのEUのオペレーションであるアスピデス作戦に最大3人のスロベニア兵が参加すること決定した。

●スロベニア、ガザにさらなる援助を送る【14日】

政府は、ガザに援助物資として、国防省とスロベニア軍の物資から7,040食分の乾燥レーションと21万8,400食分のグラノーラバー、計133万ユーロ相当を送ることを決定した。スロベニアはすでに2月にパレスチナ市民に物資支援を行っている。

●スロベニア、ウクライナへの弾薬調達に参加【18日】

国防省は、スロベニアはチェコ主導のウクライナ向けに弾薬を購入する枠組みに参加し、100万ユーロを割り当てると述べた。ウクライナが6月までに最初の引き渡しを受けると報じられた。

●ロシア大統領選挙に対する反応【18日】

ファヨン外相は、再選されたプーチン・ロシア大統領に対するロシア野党勢力の抗議活動について、「自由で民主的なロシアという考えがまだ生きているという希望」と評価した。外務・欧州省は、スロベニアはロシアがウクライナから併合した地域での選挙結果を認めていないと述べた。

●ドゥダ・ポーランド大統領のスロベニア訪問【20日】

ドゥダ・ポーランド大統領はスロベニアを訪問し、ピルツ＝ムサル大統領と共にウクライナ支援の重要性を強調した。ピルツ＝ムサル大統領は軍事支援の必要性を強調し、ドゥダ大統領はNATO加盟国の国防支出をGDPの3%まで増やすことを提案するとともに、来年のポーランドのEU理事会議長国期間の優先事項として、西バルカンでのEU加盟支援を挙げた。

●外相、ウクライナとの安全保障協定を発表【20日】

ファヨン外相は、国民議会の外交政策委員会で、ウクライナが複数の国と締結した協定と同様の、安全保障分野での協力に関するスロベニア・ウクライナ間の二国間協定を起草中であると述べた。

●ロシア外交官に対するペルソナ・ノン・グラータ【21日】

外務・欧州省は、在スロベニア・ロシア大使館の外交官1名にペルソナ・ノン・グラータを通告した。ニュースポータルSiolは、同外交官はセルゲイ・レメシェフ中佐(副武官)であると報じた。首相府ヴォウク副大臣は、活動にはスロベニアの外交政策を批判し、ロシアのウクライナ侵略を正当化することも含まれていたと述べた。非公式な情報によれば、学生ビザでスロベニアに居住する数百人のロシア人がこの活動に関与していたとされる。

●ゴロブ首相、初の原子力サミットに出席【21日】

ゴロブ首相は、ブリュッセルで初の原子力エネルギーサミットに出席し、原子力の将来性を強調した。原子力エネルギーを現在利用している或いは利用を計画している36か国が、原子力エネルギーを、気候変動危機に対応するための重要な要素とする宣言を採択した。ゴロブ首相は、原子力の助けを借りて、2040年までに電力生産を脱炭素化すると述べた。

●ゴロブ首相のストルテンベルグNATO事務総長との会談【21日】

ゴロブ首相はNATO本部においてストルテンベルグ事務総長と会談し、スロベニアが西バルカンの安定に果たしてきた役割に言及した。同事務総長は、スロベニアの国防支出引き上げ及びコソボでの存在感の強化における努力を歓迎した。両氏はウクライナへの継続的な支援についても協議した。

同日、ゴロブ首相は、スロベニアは、NATO事務総長としてルッテ・オランダ首相の支持を表明していたが、ヨハニス・ルーマニア大統領の擁立を受け、スロベニアは、特に地域バランスを考慮して支持を真剣に検討すると述べた。

●モスクワでのテロを非難【23日】

スロベニアは、少なくとも133人の命を奪ったモスクワでのテロ攻撃を非難した。ゴロブ首相はXで攻撃を非難し、犠牲者に哀悼の意を表した。外務・欧州省は、罪のない一般市民が殺害されたことに弁解の余地はないと述べた。

●BHのEU加盟交渉開始を歓迎【22日、25日】

ゴロブ首相とファヨン外相は、欧州理事会がボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)のEU加盟交渉開始を承認したことを歓迎した。ゴロブ首相は、BHは加盟への重要な一歩を踏み出したと述べ、この決定は西バルカン地域全体にとっても重要かつ勇気づけられるメッセージであり、同地域の安定と発展、そしてより良く安全な未来に貢献するものだと言った。

25日、ファヨン外相はコナコビッチ外相と会談し、BHのEU加盟に向けた努力をスロベニアが引き続き支援することを約束した。

●スロベニア、スペイン、アイルランド、マルタのパレスチナ承認に関する発言【22日、25日、29日】

22日、スロベニア、スペイン、アイルランド、マルタの首相は共同声明を発表し、「(国家承認の動きによって)前向きな貢献ができ、状況が整えば」パレスチナを国家承認する用意があると表明した。

25日、共同声明を受け、イスラエルのハイアット報道官は、このような動きは「テロリズムへの報酬」にあたりXで非難した。

29日、ファヨン外相は、スロベニアは、他のEU加盟国との合意により、ガザ地区での永続的な停戦、状況の正常化及び二国家解決に向けた協議開始という目標を達成できない場合には、短期間のうちにパレスチナを承認する用意があると述べた。

●ブルド・ブリュニ・プロセス諸国内相、不法移民について協議【22日】

ブルド・ブリュニ・プロセス諸国の内務大臣は、移民の密入国という視点から、西バルカン諸国とEUにおける移民について議論した。21日、ポクルカル内相はボジノビッチ・クロアチア内相、ピアンテドージ・イタリア内相と会談し、22日には、その3人に加えサラノビッチ・モンテネグロ内相、スヴェチラ・コンボ内相、トシュコウスキ・北マケドニア内相、及びオニディ欧州委員会移民・内政総局長が参加した。

●ガザに関する国連安保理決議を歓迎【25日】

ジュボガル安保理特使は、国連安全保障理事会がガザでの即時停戦を求める決議を採択したことを評価し、ゴロブ首相は、今こそ行動を起こす時であると述べた。ファヨン外相は、スロベニアはこの決議の立役者であり、この決議は希望のメッセージであると述べた。ピルツ＝ムサル大統領は決議を歓迎し、イスラエルに決議の実施に貢献するよう呼びかけた。

●ショルツ独首相のスロベニア訪問【26日】

ゴロブ首相はショルツ独首相と会談し、新技術、エネルギー分野、防衛に焦点を当て、より強力な協力を主張した。西バルカンについて、ショルツ首相はEU加盟は基準を満たしているかどうかにかかっていると述べ、ゴロブ首相はショルツ首相の西バルカンのEU加盟に対する意欲を賞賛した。ショルツ首相は、ウクライナへの武器支援の継続を主張し、スロベニアとドイツが参加しているチェコの弾薬購入のイニシアティブに言及した。

●メツォラ欧州議会議長のスロベニア訪問【26日】

欧州議会のメツォラ議長は、欧州議会選挙に先立ってEU諸国歴訪の一環としてスロベニアを訪問した。ゴロブ首相、ピルツ＝ムサル大統領、クラコチャル＝ズパンチッチ国民議会議長と会談し、国民議会でも演説し、前回2019年欧州議会選挙でのスロベニアの投票率(29%)が低すぎるとしてスロベニア国民に投票に行くよう呼びかけた。

●中欧5か国(C5)外相会談【26日】

中欧5か国(C5)の外相はスロベニアで会談し、ガザでの即時停戦を求める国連安全保障理事会の決議を歓迎した。ファヨン外相はこの決議がガザ和平への道を開くとの期待を示し、外相らはまた、EU拡大とウクライナ支援について、西バルカンと東ヨーロッパへのEUの拡大へのコミットメントを再確認した。

さらに、イヴァノヴィッチ・モンテネグロ外相も参加し、モンテネグロと西バルカンの現状、更に、モンテネグロのEU加盟の迅速化に対するC5の支援についても議論された。

●スロベニア・モンテネグロ外相会談【27日】

ファヨン外相は、スロベニア訪問中のモンテネグロのイバノビッチ外相と会談し、スロベニアは開発協力やEUへの道筋において引き続き支援していく、また、2026年～27年の安保理非常任理事国に立候補しているモンテネグロに対し、スロベニアはその経験を活かして支援することを約束した。

●NATO加盟20周年【28日、29日】

28日、カヴォリNATO欧州連合軍最高司令官がスロベニアを訪問し、ゴロブ首相およびピルツ＝ムサル大統領と会談した。ゴロブ首相と同司令官は、負担の分担と防衛投資の約束等について話し合った。

29日、スロベニア、ブルガリア、エストニア、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、スロバキアの外相は、20周年を記念して共同声明を発表し、同盟関係の強固さ、さらなる拡大の可能性、また加盟国が年間GDPの2%を防衛に費やすという約束を果たすことへの期待を表明した。

●ロシアのハッカーによるサイバー攻撃【28日、29日】

27日、ピルツ＝ムサル大統領の公式ウェブサイトが一時的に利用できなくなった。ニュースポータル『N1』は、他の政府や国民議会などのウェブサイトへの攻撃が続いたと報じ、政府情報セキュリティ局は、システムへの不正侵入がなかったため、サイバーセキュリティのインシデントには該当しないと述べ、ポクルカル内相は、警察が捜査を開始したと述べた。

29日、ロシアのサイバー犯罪組織、サイバーアーミー・ロシア・リボンが犯行声明を出し、攻撃はスロベニアのウクライナ支援によって動機づけられたものであることを暗に認めた。

経済・統計

●商業用不動産価格は10%上昇、住宅不動産価格、6.8%上昇【4日、22日】

2023年の商業用不動産（オフィス、産業用不動産、サービス施設）の価格は2022年比で10%上昇したが、成約件数は大幅に減少した。一方、賃貸件数は30%増加し、賃料は約3%上昇した。

22日、統計局は2023年の住宅不動産価格は2022年比で6.8%上昇し、2021年以来の最小の上昇率となったと発表した。取引件数は約4分の1減少した。

●輸出成長にはEU域外国との貿易が寄与【6日】

1月の財輸出は、EU域外国との貿易の増加を背景に、前年同月比8.3%増となった。輸入は6.6%増加し、同様にEU外からの輸入増が背景にある。輸出は、EU内は2%減少したのに対し、EU外は20.8%急増した。域外国との貿易量の増加は加工業務によるところが大きい。

●鉄鋼グループSIJは昨年赤字【12日】

鉄鋼グループSIJは、2022年にほぼ1億ユーロの純利益を上げていたが、2023年の売上収益は前年比23.1%減の10億ユーロ、損失は1,880万ユーロとなった。約3,800人を雇用するSIJグループのエネルギーコストは2年連続で前年の2倍となった。

●電力取引業者Gen-I、2023年は減収減益【13日】

スロベニア最大の電力取引会社Gen-Iは、未監査の結果によると、2023年の売上高は29.3%減の29億ユーロ、純利益は16.5%減の2,480万ユーロとなった。同社は5,000万ユーロの新規融資を検討している。同社は、減収の主な原因はエネルギー価格の下落であるとしている。

●SKBグループの昨年の純利益は25%増【13日】

ハンガリーのOTPグループ傘下の銀行グループSKBの2023年の純利益は7,650万ユーロ（前年比25.3%増）、営業利益は9,340万ユーロ（前年比23.5%増）となった。同銀行は、高い金利収入が成長につながったと述べた。SKBはNKBMとの合併を進めている。

●NKBMグループの純利益は昨年ほぼ倍増【14日】

昨年ハンガリーのOTPグループの傘下に入った銀行グループNKBMは、2023年に2億380万ユーロ（前年92%増）の純利益を計上した。営業総収入は4億400万ユーロ（前年比28%増）を超えた。税引前営業利益はほぼ倍増の2億660万ユーロとなった。

NKBM銀行単体での純利益は1億8,930万ユーロであった。

●ペトロール社、2023年は黒字転換【15日】

エネルギーグループのペトロール社は、2022年の赤字から、2023年に1億3,700万ユーロの純利益に転じた。売上高は、主に燃料やその他のエネルギー商品の価格下落により、26%減の70億ユーロ弱となった。税引前・減価償却前利益（EBITDA）は約3倍の2億7,700万ユーロとなった。燃料販売量は380万トンと、2022年比で8%減少したが、商品・サービス売上高は10%増の5億7,100万ユーロとなった。

●水素コンソーシアムの設立【15日】

18の企業、団体、自治体が低炭素水素エコシステムの構築に向けたコンソーシアム設立協定を締結した。本コンソーシアムの設立は日本のパートナー誘致に向けた一歩だと考えられている。将来の持続可能な燃料としての水素の導入を加速するために、スロベニア日本ビジネスカウンスル、スロベニア・エンジニア・アカデミー及び国営送電会社 ELES は、同様の関心と視点を持つ関係者からなるコンソーシアムを結成し、出席したファヨン外相、パピッチ高等教育相、クメル環境相、ハーン経済相も支持を表明した。このコンソーシアムは、さまざまな分野の専門家と数十年にわたる産業工学の経験を擁し、おそらくスロベニア史上最大のコンソーシアムである。同コンソーシアムは、水素関連のプロジェクトのためのインフラを提供するが、水素の製造能力を持つパートナーを必要としている。

●養蜂見本市がツェリエで開催【16日】

第47回目養蜂見本市アピスロベニアがツェリエで開催された。9か国から50を超える出展者が集まり、最先端の機器や技術、講義やワークショップを紹介し、専門家と愛好家のノウハウの交換を促した。スロベニアの養蜂家密度はEUで最も高く、合計11,000人の養蜂家が約215,000匹のミツバチを飼育している。

●ルカ・コペル社、ベルティンツィに5億ユーロの物流センターを計画【18日】

コペル港を運営するルカ・コペル社は、北東部ベルティンツィに国際物流センターを建設する計画を立てている。すでに同地の市長らによって全会一致で承認され、費用は5億ユーロ以上、約300人の新規雇用を生むと見込まれる。

●DARS、高速道路通行券販売15%増【19日】

高速道路運営会社DARSは、2023年に860万枚(前年比15%増)の電子ヴィニエッタを販売し、2億3,600万ユーロ(前年比16%増)の高速道路通行料金を徴収した。有効なヴィニエッタを持たないドライバーにはのべ6万件強の罰則が科された。

●スロベニアのコンソーシアムがクルシュコ原発核廃棄物処分場の建設を落札【26日】

エンジニアリング会社リコが率いるスロベニアのコンソーシアムが、クルシュコ原子力発電所で生成される核廃棄物処分場の主要施設の建設を落札した。リコはスロベニアの建設会社コレクトル、CGP、コスタックと提携し、9,300万ユーロかけて処分場を建設する予定。処分場の基礎部分を建設している韓国の韓国水力原子力と大宇建設のコンソーシアムが入札の競争相手であった。

●フィリピン人労働者を年間1,000人以上確保へ【27日】

スロベニアは、労働力不足に対処するため、クロアチアのフィリピン人労働者雇用の仲介・人材派遣会社Pinoy385のスロベニア子会社を通じ、フィリピンから年間1,000人以上の労働者を受け入れる予定である。スロベニアはすでにマニラに領事館を開設している。

●リュブリャナ空港、過去最多22社が就航【28日】

28日、リュブリャナ空港運営会社のフラポート・スロベニアは、夏季ダイヤで、これまでで最多となる22社の航空会社が運航し、25都市へ週150便以上の定期便があると発表した。新規就航するのはリガ、コペンハーゲン、マドリードである。

●3月の年間インフレ率は3.6%に微増【29日】

3月の年間インフレ率は3.6%(前月3.4%から微増)となった。主にアパレルと靴のシーズンコレクションの変更が寄与した。

●昨年の一般政府赤字はGDP比2.5%、債務はGDP比69.2%【29日】

統計局は、昨年の一般政府赤字を15億8,700万ユーロ、国内総生産(GDP)の2.5%と発表した。2022年より1億1,400万ユーロ、0.5ポイント減少した。一般政府債務は436億7,000万ユーロで、名目では増加したものの、GDPに占める割合では減少し、69.2%となった。

●2月の調査失業率、最低の3.1%【29日】

2月の調査失業率は3.1%で、前月比0.1ポイント低下、前年比では0.5ポイント低下し、調査を開始

した2010年1月以来最も低くなった。1月時点の失業者数は約3万3,000人、そのうち男性は53%、女性は47%だった。

治安・事件事故

●リュブリャナで銃を使った強盗事件【10日】

9日午後8時頃、リュブリャナのモステ地区にある店舗に男2名が侵入し、従業員を拳銃で脅迫し、従業員と3人の客に暴行の上、両手を縛って所持品とレジの紙幣数枚を奪った。

●ノヴァ・ゴリツァで強盗事件【20日】

20日午前0時過ぎ、ノヴァ・ゴリツァの市街で47歳の女性が2人の男に襲われた。1人が茂みから女性に近づき、もう1人が自転車で背後からバッグを奪った。

●リュブリャナで高齢者を狙った窃盗事件【27日】

26日朝、リュブリャナ郊外のザログで3人組が高齢者宅を襲う窃盗事件が発生した。1人が電気工事を装い被害者の注意を引き、他の2人が屋内に侵入し、数千ユーロ相当の宝石類を盗んだ。

社会・文化・スポーツ

【スポーツ】

●女子スキージャンプのプレヴツ選手、ワールドカップ総合優勝【21日、23日】

21日、プラニツァで行なわれた女子スキージャンプワールドカップ最終戦で、プレヴツ選手が3位に入り個人総合優勝した。日本勢の総合順位は伊藤有希選手が4位、高梨沙羅選手が9位だった。

世界最大級のジャンプ台がある北西部プラニツァはこれまで男子スキージャンプワールドカップ最終戦

の会場となってきたが、スロベニアの女子ジャンプの成功と人気を背景に、今年は初めて女子でもシーズン最終戦の会場となった。

【生活、その他】

●社会・政治的トピックに関する世論調査【4日】

世論調査によると、スロベニア人は職業のうち消防士と市民保護を信頼しており、教会、政府、国民議会を信頼していない。55%は汚職が蔓延していると考え、中絶は76%、同性婚は53%が、安楽死は63.5%が容認している。53%が政治に関するメディアの偏向を指摘し、民主主義、世界的政治的影響力が最も誇りに思わない事項として挙げられた。

●スロベニア人の約半数がレインボー・ファミリーを受け入れ【22日】

LGBT協会Legebitraが依頼した世論調査によると、スロベニア人の45%がレインボー・ファミリー（両親のどちらかが性的少数者である家庭）に対して肯定的な態度を示し、36%が否定的な態度を示した。肯定的な態度はZ世代で最も高い。

●女性の晩婚化【25日】

スロベニアの女性の晩婚化が進み、ほとんどの場合、子供は1人を選択していることが明らかになった。2023年に生まれた子供は16,769人で、これは2022年より5%近く少なく、過去50年間で最低の数字である。また、母親は労働市場で積極的に働いており、特に3人以上の子供は81.5%が働いている（EU平均56.7%）。

スロベニア日本国大使館

電話: +386-1-200-8281 又は 8282 Fax: +386-1-251-1822、Email: info@s2.mofa.go.jp

Web: http://www.si.emb-japan.go.jp/website_jp/index_j.html

●本資料は、スロベニアに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。新たに配信を希望される方、あるいは今後配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

info@s2.mofa.go.jp

【領事班からのお知らせ】

●証明のオンライン申請及びクレジットカードによるオンライン決済の開始について
各種証明（一部を除く）のオンライン申請及びこれらの手数料のクレジットカードによるオンライン決済が可能となりました。これまでは、平日の昼間に窓口に来館されて申請を行っていただく必要がございましたが、同日以降は、夜間、休日問わずオンラインで申請いただけますので、是非ご利用ください。詳しくは以下のリンク先をご確認ください。

当館 HP: https://www.si.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00834.html

●パスポートのオンライン申請と申請手続きの一部変更

パスポートの手続きの一部がオンラインで申請可能となりました。オンライン申請に際しては、在留届が「電子届出化」されている必要があります。詳しくは以下のリンク先をご確認ください。

当館 HP: https://www.si.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00740.html

●スロベニアに90日以上滞在される方は、在留届を提出してください。また、住所・連絡先の変更、同居家族の追加など、提出済み在留届の記載事項に変更が生じた場合は「変更届」を、帰国や当館管轄地域外へ転出する場合は「帰国・転出届」を必ずご提出ください。

特に、当館からの重要な連絡が確実に皆様に届くよう、Eメールアドレスや携帯電話番号の変更は速やかに届出をお願いいたします。

【外務省オンライン在留届】: <http://www.ezairyu.mofa.go.jp/>

●海外に住んでいる人が、外国にいながら国政選挙に投票できる制度を「在外選挙制度」といい、これによる投票を「在外投票」といいます。在外投票ができるのは、日本国籍を持つ18歳以上の有権者で、在外選挙人名簿に登録され、在外選挙人証を持っている人です。在外選挙人証の申請から受け取りまでには通常2か月程度の期間を要しますので、早めの申請を行ってください。

●当地での在留許可取得や在留許可延長手続きの際に必要な警察(犯罪経歴)証明については、申請から交付までに通常約2か月かかります。お手続きに必要な期間をあらかじめ考慮の上、余裕を持って申請を行っていただくようお願いいたします。

●こころがモヤモヤしたり、ざわついたりするときは、相談してみませんか？

外務省は、特定非営利活動法人と連携して海外在住日本人の孤独・孤立対策の支援を行っています。海外にいても、SNSやチャットを使って日本語で相談できます。相談は無料です。

【外務省HP: 孤独・孤立及びそれに付随する問題でお悩みの方へ】

<https://www.anzen.mofa.go.jp/life/info20210707.html>

【参考情報】

1. 外務省海外安全ホームページ

<https://www.anzen.mofa.go.jp/life/info20210707.html>

2. たびレジ簡易登録

本サービスは、メールアドレスとメール配信を希望する国・地域を選択するだけで、当該在外公館から領事メールを受信することが出来ます。ぜひご利用下さい。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/simple/register>

【広報文化班からのお知らせ】

●「第12回ジャパン・デー2024」の開催について

日本の祭「第12回ジャパン・デー2024」は以下の要領で開催されます。

○開催予定日: 6月15日(土)11時から17時

○会場: 開催場所: リュブリャナ市TR3ビル前広場及びTR3ビル屋内

○主催: ジャパン・デー実行委員会

※詳細は、Dan Japonske フェイスブックをご覧ください。

<https://www.facebook.com/DanJaponske/>

●スロベニア語字幕付 Japan Video Topics 配信中

当館 YouTube チャンネルにおいて、日本の文化や技術を紹介する Japan Video Topics のスロベニア語字幕版(英語音声)を配信しております。

[Embassy of Japan in Slovenia – YouTube](#)

●最新情報は、当館フェイスブックでチェック！

<https://www.facebook.com/Embassy.of.Japan.in.Slovenia/>